

本音の鳥獣対策

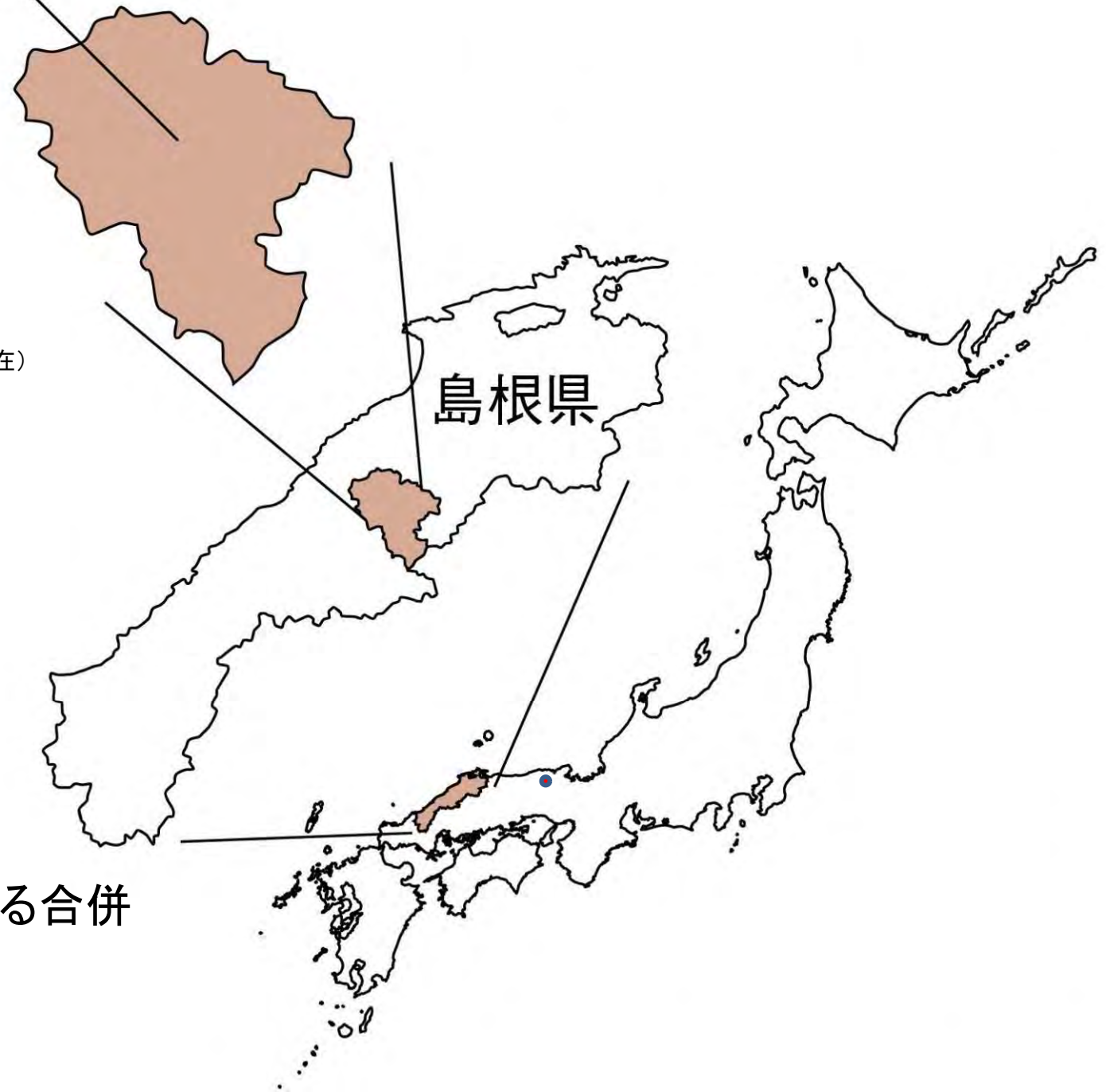
～2, 3年我慢すれば異動と思った日から丸28年、見えてきたもの～



美郷町

MISATO TOWN

面積 282km²
世帯数 1,985世帯
人口 3,956人 (R7.11.1現在)
高齢化率 48.3%
森林面積 88%

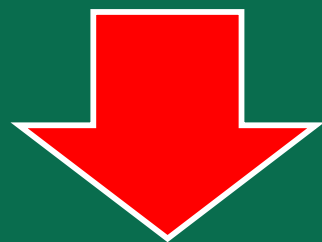


2004年10月1町1村による合併
邑智町・大和村



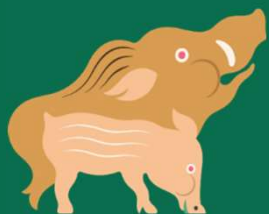
おおち山くじら物語のはじまり

1997(H9)～1998(H10)合併前・邑智町企画課



「この町の地域おこしとは…？」

1999(H11) 産業振興課 異動





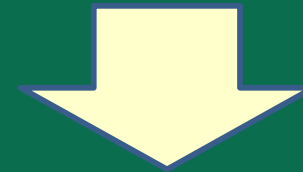


保身

お役所心理

利害関係

- お金と物で解決 → 「事業評価」
短期成果主義
- 2, 3年すれば異動 → 前例踏襲主義
要領のいい職員
ことなかれ主義



不安定要素

「私の町は対策はこれから・・・」

「捕獲確認は広範囲、ほかの仕事が多忙、人員が少ない」

= 自分の損得勘定

30年間近く変わらない獣害対策の実態

1. 歌手が1曲のヒット曲を30年近く歌っているのと同じ

＝時代は動く、でも同じ対策指導の繰り返し、足踏みしている(でも新鮮?)

➡お役所心理・断片的な仕事

➡過去に鳥獣対策で優良事例として受賞

・モデルといわれた自治体取り組みは今どうなっている?

2. 野生動物の問題として、野生動物の生態等に焦点をあてて鳥獣対策 解決する傾向があること

＝野生動物の専門家が野生動物をどうにかすることが対策となり続けている

➡野生動物に対する技術開発・研究

(注)これが全てではありませんが参考までに

第13回 全国鳥獣被害対策サミット (東京会場)

『鳥獣害を超える！』～多様な人材が描く、新しい獣害解決への道～

(株)ブランドウ・ジャパン アンケート結果より (回答数 145件うち自治体61件・42%)

Q 鳥獣被害対策にあたり特に課題を抱えている対策は何でしょう？ (複数回答可・回答件数407)

人材育成	94件	65%
地域ぐるみ	100件	69%

ICT・IoTなどの新技術の導入	43件	30%
侵入防止対策(柵の設置等)	55件	38%
生息環境管理(放任果樹の伐採・刈り払い等)	39件	27%
捕獲個体の効率的な解体・処理加工・ジビエ利用	35件	24%

獣害対策の形骸化



獣害対策におけるニーズとシーズ

① 農業者の求めているもの ・ ・ ・ 農林作物の収穫

そのための手段＝獣害対策

② 大学等研究機関・企業 ・ ・ ・ 技術・研究・開発
手法



ニーズに対してシーズがあっても解決しない…なぜか？



なぜか？ “野生動物に焦点を充てていること”

施策 技術革新・捕獲 “力ネとモノで解決”

➡ 獣害対策における定性的取り組みとその評価の欠如

私の鳥獣対策の診断書 “身の丈”

鳥獣対策

(地域づくり)



補助金
事業



何を
やって
る？

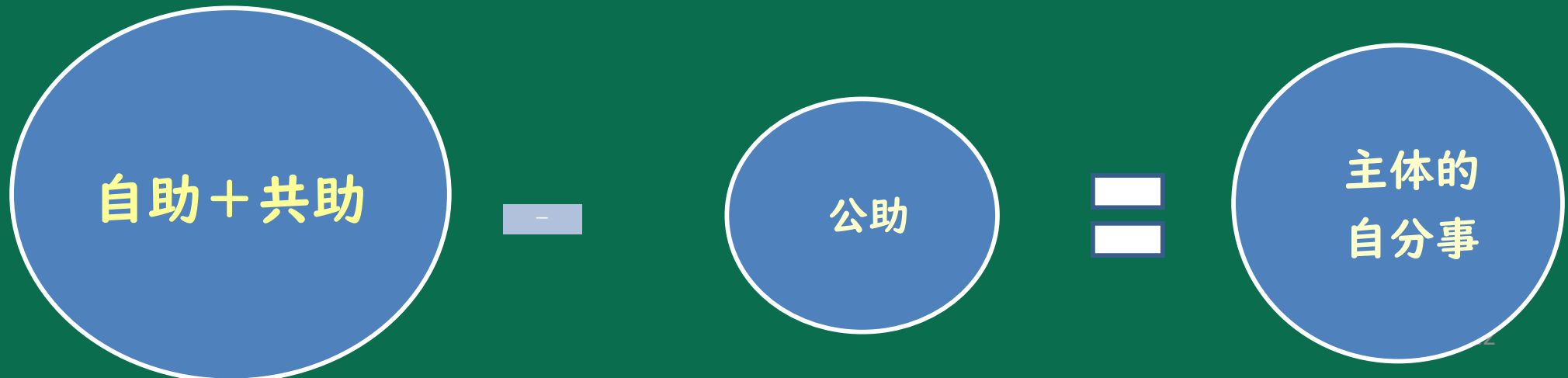


ブームに左右されない・カネモノでは解決できない
人間の利害関係の問題
＝定性的な取り組み（強み）

獣害対策自体が目的になりやすい（初動） （モノ・金で解決…獣害対策・地域振興のブーム）



行政が用意した事業メニューでなく、自分たちが地域のあり方に向き合い取り組む先に課題解決のヒントがある（主体性・ブレない・流行に左右されない）



鳥獣と人間の闘い



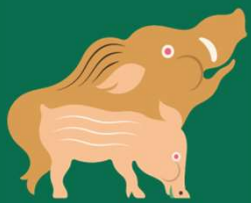
過疎・人口減少の波との闘い

- 成熟した地域・高齢化を前提にした暮らしの事業展開
- 依存体質による失った自立や主体性の喪失を再生

獣害問題を獣害対策で解決する時代ではない
“人”に焦点をあてた取り組み
(人間社会の変化に目を向けた対策の時代)

2, 3年我慢すれば異動だ、我慢と思った
日から丸28年、見えてきたもの

1. 定性的な評価・定性的目標が求められること
2. “共感” “つながり”の輪をいかに広げていくか
(内部・外部)



おおち山くじら物語

1999年(平成11年)～

第1章 (点) 獣害対策の抜本的改革

第2章 (線) 夏イノシシ資源利活用

第3章 (面) 地域づくり・コミュニティビジネス

第4章 定住・雇用・ローカルビジネス

- 第1章～第3章 内発的取組、第4章 共発的取組

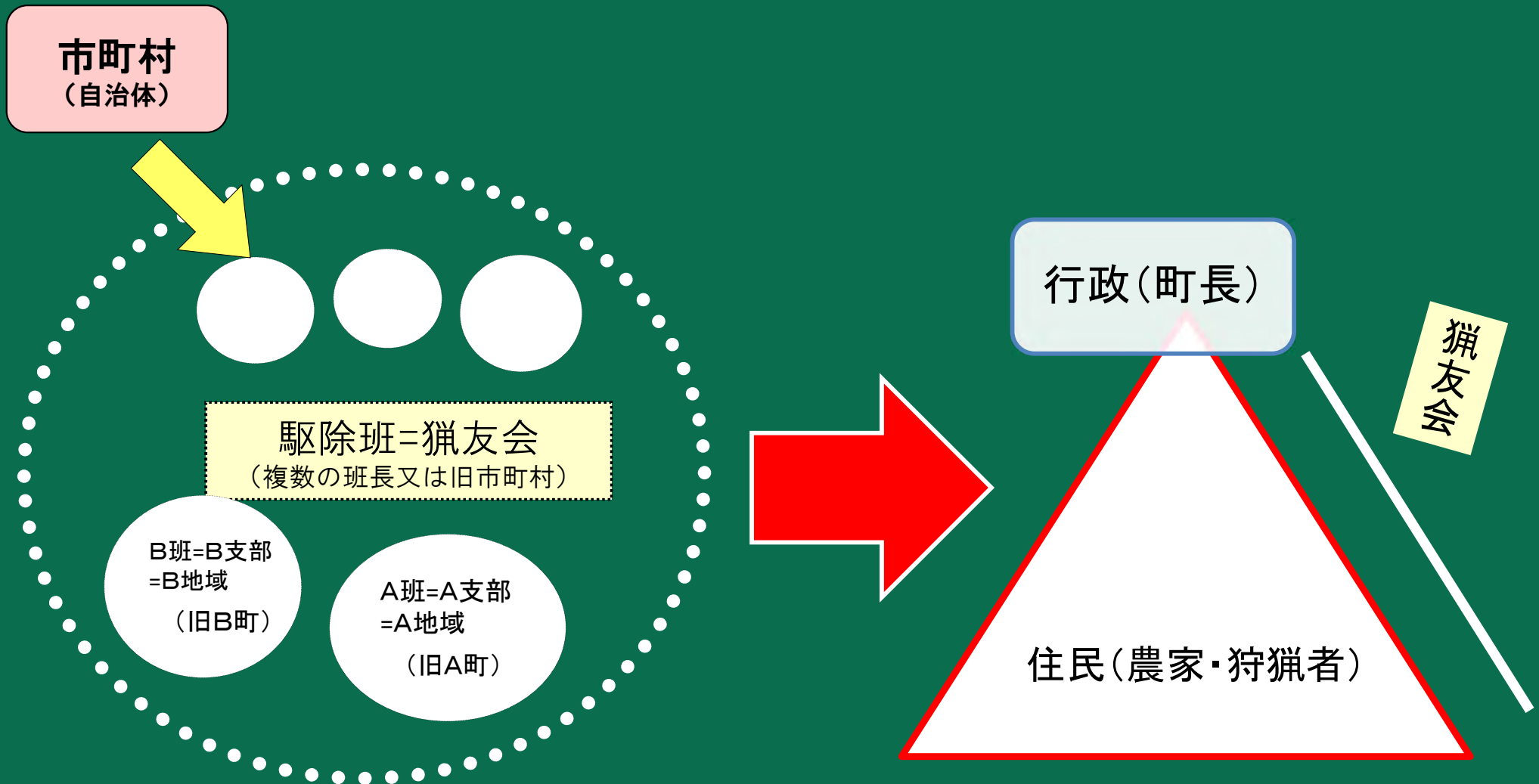


- “人”に焦点をあてた取組み “人間模様”
獣害対策 = 人対策 → 人おこし、地域おこし

第5章 美郷バレー構想 (2019年～)

- 獣害対策の基本理念を共有する町外の力を呼び込み、
町の新たな力に変えていく環境づくりを展開

鳥獣対策の捕獲と狩猟の混同を線引き



ミスマッチの解消

美郷バレーの進化

美郷バレーの真骨頂 産官学民が知恵を絞り、新たな町の魅力づくりと持続可能な地域振興、課題解決型のビジネスチャンス

産

(株) テザック (大阪)
タイガー (株) (大阪)
古河電気工業 (株) (東京)
邑智郡森林組合



鳥獣製造機器メーカー進出



島中・大田高校生「地域学習」 バレー企業就職



ドローン活用による林業省力化

ヒト・モノ・
カネ・情報

共創による取組の幅拡大
ノウハウの蓄積

官

H31 山くじらブランド推進課
R4. おおち山くじら研究所
美郷バレー課



電気柵支持具の共同開発

民

NPO里地里山問題
研究所 (兵庫)
B O - G A (福井)

活動人口・滞在人口の拡大

R2 43件 244人 宿泊者数 30人122泊 ※コロナ禍
R6 137件 663人 宿泊者数196人 719泊 購買率92%

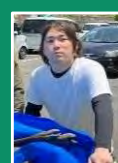
三重県津市
兵庫県丹波篠山市
神奈川県大磯町

学

麻布大学
(神奈川)



麻布大学フィールドワークセンター誘致(同大本学初の教育研究拠点)



麻布大学生が滞在・地域と交流、美郷バレー協定企業就職、町移住、滞在人口拡大



大磯町「セレクトショップ」特産販売



大磯高校・町内飲食店ジビエ料理学習

山くじら地域ブランド→美郷バレー構想

美郷バレー＝鳥獣害対策版シリコンバレー

美郷町の獣害対策に関する最先端の情報・技術や人脈、それらを活用したビジネス、地域活性化のノウハウに惹かれ、産官学民が自発的に集う環境づくり



1999年 点から線へ

線から面へ

2019年

2026年

山くじら地域ブランド創出

美郷バレー構想

有害鳥獣
駆除

資源
利活用

地域
づくり

定住・雇
用・ビジ
ネス

産官学民
の集結・
共創

産官学民
の協創

猟友会主体から農業者主体の駆除へ【**獣害対策の抜本的改革**】
(夏イノシシの駆除)

駆除したイノシシを利活用（生体搬送し、精肉へ）
特産品「**山くじら**」の誕生

地域で獣害に強い畑づくりを**実践**。
皮革製品の創作グループも誕生。

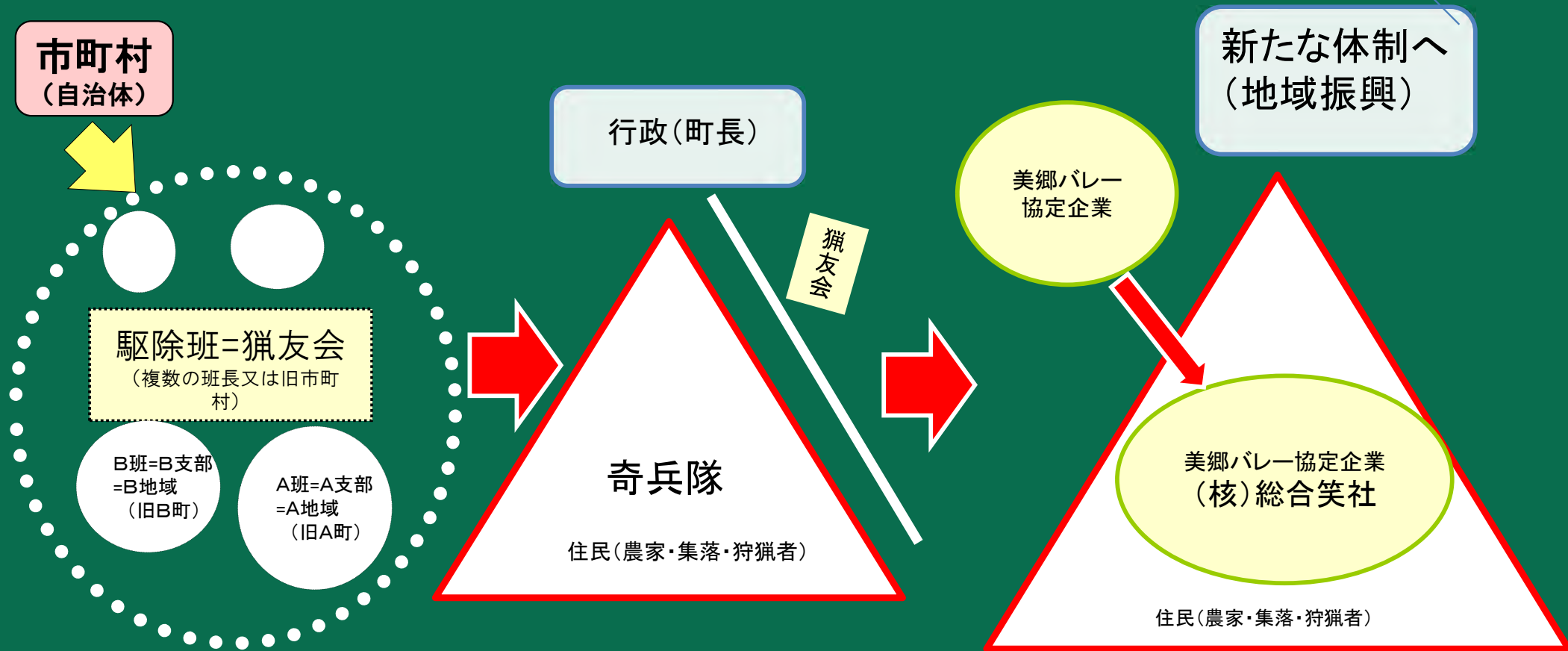
山くじらを販売する**企業の誕生**と
地域おこし協力隊の**定住**

これまでの取組に賛同した産学
官民が美郷町に集まる。
「**美郷バレー構想**」の誕生

美郷バレー参画企業による様々
な**取組の展開と幅の広がり**（ド
ローン、鹿肉活用、獣害対策製
品開発など）

“協創” 新たな体制の構築へ

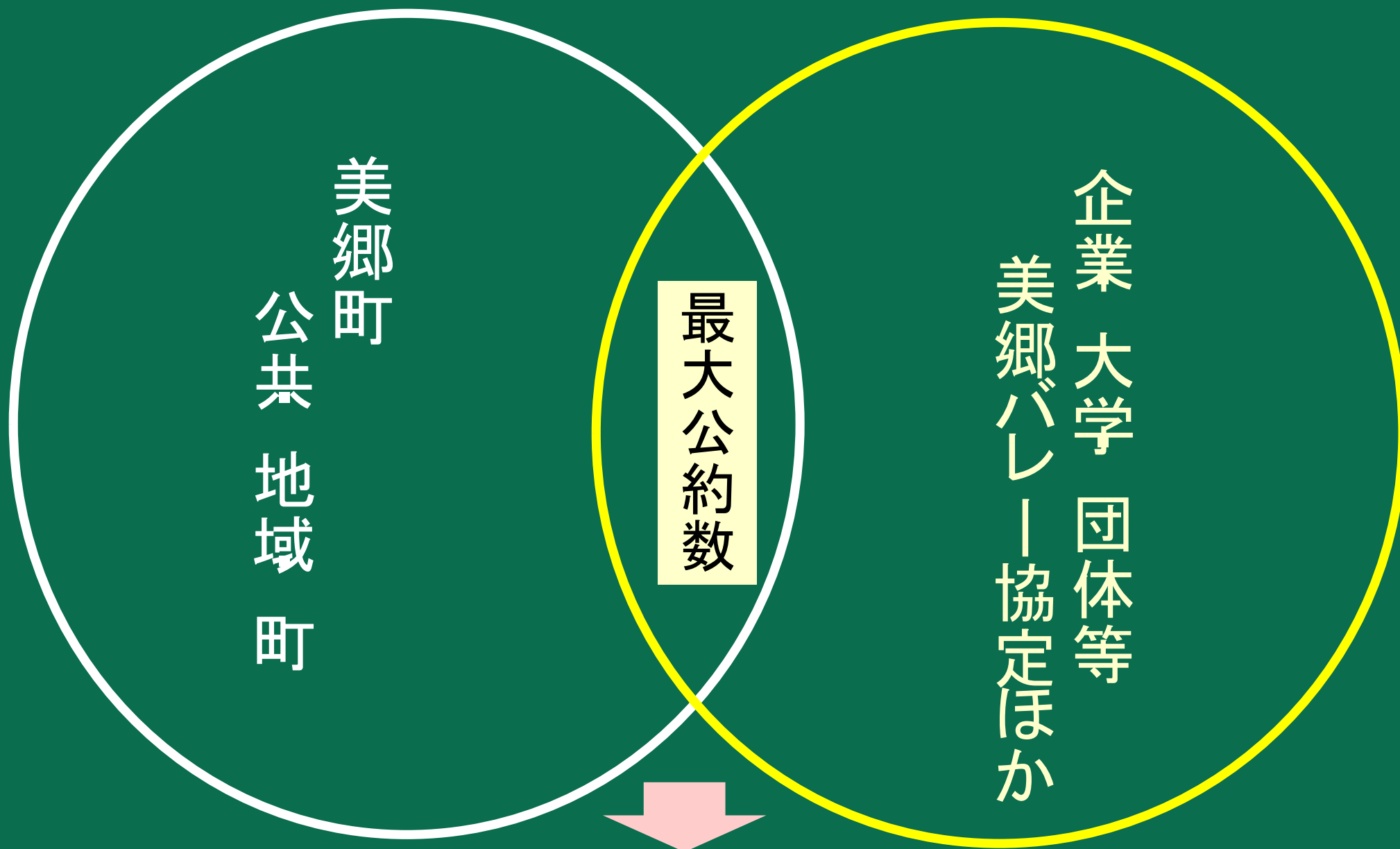
人口減少・マンパワーをどうするか・・・自助・共助＞公助



クマ・シカ・イノシシ(豚熱対策含む)
捕獲・処理・利活用から新たなビジネス、
持続可能な地域づくりへの取組

人口減少・将来の担い手不足 マンパワーの解消

鳥獣対策の本丸＝過疎・人口減少の波と戦い抜くために



外部の力・ノウハウ・ビジネス的手法による活動の持続と広がり、分野の広が^り

大義をもつての28年

- やっていること、そこに大義があるから
「なぜ、自分はやっているのか」 この町の地域おこしとは？ ※自己の損得勘定に大義はない（お役所心理）
- 挫折しても続ける力、原動力
- 近視眼的な取組み（行政・マスコミ・政治なりやすい）でなく、視座を高く、複眼的な視点と取組みに
- 野生動物との闘いではなく、過疎・人口減少の闘い

➡地域の課題解決に止まらない ➡ 共創 ➡ 協創の時代へ

美郷バレー・山くじらフォーラム2026開催 9/30～10/2 (3日間)

共創から協創へ ～外部の多様な人材を巻き込む・つながる～

「美郷から創出へ」 列島の多様な人材を巻き込む・つなげる
美郷バレエ・山くじらフォーラム2026
 人と野生動物のすみ分け ～旧三江館・森林再生実験試験～



森林再生・野生動物対策から持続可能な地域づくりを目指して



“モニタリング” ドローンと空気中の環境DNAで野生動物の生息生息をさぐる

と き : 令和8年9月30日(水)～10月2日(金)

ところ : 島根県美郷町粕渕 みさと館 (役場庁舎隣)

※1日目夕方 ジピエのゆうべ（たまりば邑）

主 催 : 島根県美郷町・おおち山くじら研究所

協 賛 : 広島大学、麻布大学、西日本旅客鉄道(株)、広島広域都市圏鳥獣部会、タイガー(株)

(株)デザック・邑智郡森林組合・JAしまね

問い合わせ : 島根県美郷町 美郷バレエ団 電話 0855-75-1630



美郷バレー・山くじらフォーラム2026
～ 共創から協創へ～ 外部の多様な人材を巻き込む・つながる



テーマ **イノシシの家畜伝染病対策と鳥獣被害対策、ジビエ利活用**
ジビエのゆうべ（意見交換会）～ジビエのまちまね【ジビエのまちを味わう】～

※詳細はQRコード・美郷町公式SNS「美郷パレーnote」



と き : 令和8年9月30日(水)～10月2日(金)

ところ：島根県美郷町粕渚　みさと館（役場庁舎隣）

※1日目夕方 ジビエのゆうべ（たまりば邑）

主 催 : 島根県美郷町・おおち山くじら研究所

協 賛 : 広島大学、麻布大学、西日本旅客鉄道(株)、広島広域都市圏鳥獣部会、タイガー(株)

(株)テザック・邑智郡森林組合・JAしまね

問い合わせ : 島根県美郷町 美郷バレー場 電話 0855-75-1686



美郷バレー・山くじらフォーラム2026

令和8年9月30日(水) 会場 大田区 昌 (ゴールデンユーピア)

17:30~19:30

其 他：美郷町・おおち山くじら研究所・またたび・たまりば色

内 容: 「ジビエのまち」で設定の「おおち山くじら」・「美濃もみじ」の料理を味わいながら、まちづくりを祈る歌のゆうべのひとつとき。

參加費：全費制 重要事項予約

申し込み・問い合わせ: 熱線 0155-75-1430



美郷バレー・山くじらフォーラム 2026 概要

美郷バレー テーマ：共創から協創へ ～外部の多様な人材を巻き込む・つながる…広がるバレーの輪～

●主催：美郷町・おち山くじら研究所

●協賛：広島大学(申請)、麻布大学、西日本旅客鉄道(株)、広島広域都市圏鳥獣対策部会、タイガー(株)、テザック、邑智郡森林組合、JAしまね

【9月30日(水) フォーラム1日目】 1日目テーマ：人と野生動物のすみ分け(共生) 旧三江線実証試験の取組み

□ホール展示・販売・商談(獣害対策、ジビエ等利活用、バレー協定企業団体展示…(株)テザック、タイガー(株)、青空クラフト ほか)

■開会式：13時10分 主催者あいさつ 美郷町 嘉戸町長

1. 旧三江線・森林再生実証試験について 西日本旅客鉄道株式会社
(森林再生・野生動物対策から持続可能な地域づくり) 地域共生課 課長 後藤田育司 氏・地域共生課 課長 横健氏

2. 美郷町で、美郷町に学ぶ野生動物との棲み分けー空気中の環境DNA(eDNAir)で野生動物の生息と生態を探るー
広島大学大学院 総合科学研究科 教授 西堀 正英 氏

3. ドローン及び赤外線付きカメラによる森林の鳥獣被害防止対策実施試験について(報告)
(JR西日本鉄道林の再造林地の赤外線付きカメラとドローン試験報告) タイガー(株) 顧問 野田 浩 氏

4. 質疑応答(講演者3名 登壇)

■ジビエのゆうべ(17時30分～) テーマ：ジビエのまち・美郷町 ※2日目のテーマの前夜祭

会場：たまりば 邑(むら) イノシシ・シカ利活用 意見交換会 ※会費制
内容：ジビエのまち紹介 町内ジビエ料理、クラフトなど紹介

【10月1日(木) フォーラム2日目】 2日テーマ：イノシシの豚熱による家畜防疫と鳥獣対策、ジビエ利活用

□ホール展示・販売(獣害対策、ジビエ等利活用、バレー協定企業団体展示)

《開始：10時00分～》

1. イノシシの豚熱対策とジビエ利用の両立を目指して 島根県農林水産部参事(兼畜産課) 加地紀之 氏

2. 山くじらフォーラムにおける学生の地域課題研究発表会
・発表者：高校生、広島大学 大学生・大学院生 ・モデレーター： 広島大学大学院 教授 西堀 正英 氏

《午後：13時30分～》

3. 野生イノシシコンソにおける麻布大学フィールドワークセンターの役割 麻布大学生命環境科学部教授 江口祐輔 氏

4. 鳥獣被害対策(入口)から村おこし(出口)を ～ピンチをチャンスに～ タイガー(株) 取締役 小林一木 氏
・獣害対策(きやうばん)⇒捕獲組織(担い手の問題)⇒豚熱対策⇒クマ問題(認定鳥獣)⇒地域づくり(雇用・たまりば・飲食連携)等
・テーマとの関連 ～外部の多様な人材を巻き込む・つながる…広がるバレーの輪～

5. 質疑応答(講演者3名 登壇)

【10月2日(金) フォーラム3日目(午前中)】 最終日テーマ：獣害対策を通じた地域コミュニティ

鳥獣被害対策から村おこしを ～全ての取組みは住民の主体性から～ …取組実践事例の紹介

■現地研修(美郷町都賀行) 都賀行公民館及び現地
“雅ねえ”こと獣害研究家 井上雅央 氏、都賀公民館 副館長 布元明子 氏

おおち山くじら物語
終劇

